

和名	分類	特徴ほか	会える場所			
			ハイム	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他
ルリタテハ	タテハチョウ科	青・黒・白の配色の妙	○	x	○	全国



生田緑地 11月初旬 日向ぼっこのイメージが強い蝶

成虫発生時期（月）											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
○ 食草			食樹			発生回数/年			越冬形態		
ホトトギス、サルトリイバラほか						3			成虫		

とにかく飛ぶのが速い蝶です。成虫で越冬することもあり年中見られるのですが、特に秋に見る機会が多いような気がします。秋の生田緑地では、柿の実が熟して落ち出す頃にルリタテハ、ムラサキシジミなどが腐りかけの果汁を求めて木に集まるのが見られます。

サルトリイバラを食す幼虫（新沼市民の森5月下旬）



相模原市 4月上旬 越冬しているには新鮮

ルリタテハによく似たイメージをもつのが山地性のキベリタテハです。こちらは草でなく、ダケカンバ、シラカバといった木の葉を食します。羽の外縁の黄色い縁取りの内側に並ぶ青斑が印象的ですが見る機会は少ない蝶です。



宮古島 3月下旬 島のあちこちに多い（南西諸島亜種）



キベリタテハ 長野県南佐久郡 8月末
東日本の山地～北海道に産するが見る機会は少ない



ルリタテハ 2021年7月7日 蕪崎市 ミネラルの補給



ルリタテハ 2022年4月8日 相模原市 越冬個体の日向ぼっこ 殆ど傷みが見られない



キベリタテハ 2020年8月24日 入笠山 ダケカンバの幹から飛び立ち路上にとまって開翅



キベリタテハ 2022年8月26日 入笠山 珍しくマツムシソウで吸蜜